

監査に携わる人と

クライアントのすべてが活気に溢れ

輝く人生となるよう導く存在であること。

監査業務

史彩監査法人は様々な企業に対する豊富な監査実務経験や多くのクライアントをIPOの成功へ導いた経験を有するメンバーが多数在籍しているプロフェッショナル集団です。法人のメンバー全員がクライアントの声に真摯に耳を傾け、監査を超えたバリューを提供することを通じて、クライアントと日本経済に貢献することを目指しています。



IPO 支援業務

IPO監査経験が豊富な公認会計士によってチームを組成し、上場審査までのタイムラインをもとに、IPOに向けた各種課題解決、体制構築のご支援をさせていただきます。なお、審査対象期間以前の、特にN-2期やN-3期における監査法人の指導的役割を重要であると考えています。クライアントの良き相談相手として、またクライアントと共に汗をかきながら、IPOまでの道のりをワンチームで伴走いたします。



アドバイザー業務

財務DD(合併や買収)、企業価値評価、IFRS導入支援、事業承継、内部統制構築支援で永年の経験を積んだ専門性を有するプロフェッショナルがネットワークを活用しながら、課題やターゲットの本質を見極め、企業価値の向上を支援しています。



史彩監査法人

Shisai Audit Corporation

採用に関するお問い合わせ
説明会の申し込みはこちら



〒107-0052 東京都港区赤坂2丁目4番6号
赤坂グリーンクロス24階 [溜池山王駅 / 国会議事堂前駅 直結]

設立年月：2017年3月末

代表者名：伊藤 肇 / 田和 大人 / 西田 友洋

人 員 数：代表社員3名 / 社員(公認会計士)6名 / その他の公認会計士33名
公認会計士試験合格者10名 / その他スペシャリスト・事務職員9名 [合計61名]

※2025.3現在



HP | OFFICIAL



YOUTUBE



X | RECRUIT



LINE | RECRUIT



共に歩む。
未来を
彩りある



史彩監査法人

Shisai Audit Corporation

Top Message

トップメッセージ

監査の先にある、彩りある未来へ。

次世代監査法人の可能性に挑む。

代表パートナー / 公認会計士 伊藤 肇
Hajime Ito

監査の実務において、私たちは、ともすると監査を取り巻く環境に目が行き過ぎ、全体を見渡す視野の広さを保てなくなります。しかし、それでは監査の本質とはかけ離れてしまうことになりかねません。

リスクを単に避けるものとして扱うのではなく、クライアントと共に真正面から向き合うことを忘れてはならないと思います。企業の成長の過程で起きている事象をシンプルに捉え、監査人が大局的な視点を持ち続けることが可能になると考えているからです。

会計及び監査のフレームワークの中で厳正かつ厳格に対処することはもちろんですが、大局的な視点を失わずに真剣に関わるからこそ得られる信頼というものを私たちはなによりも大切にしています。

監査がもつポテンシャルに常に挑戦をし続ける次世代の監査法人として、例え、困難な道のりであっても、前向きな姿勢で粘り強く「主治医」のように企業の皆様に寄り添い、しっかりとサポートしてまいります。

監査業界の アップデートを目指す。

代表パートナー / 公認会計士 西田友洋
Tomohiro Nishida

昨今、日本では会計の不正事例が多く発生しています。そして、不正事例が発生するたびに、「監査の品質」の重要性が叫ばれ、監査のルールが厳しくなる傾向にあります。

ここで、監査は、日本経済及び証券市場に安全性・安定性をもたらすために存在するため、「監査の品質とは何か」について、日本社会・企業とコンセンサスを得ることが重要であると考えます。しかし、そのコンセンサスが十分に得られないまま、監査のルールだけ

が厳しくなる傾向にあるため、監査に対する期待が高まっていないと感じられます。

そのため、史彩監査法人ではルールを正確に理解した上で形式的なルール運用を避け、かつ、重複作業の削減化を図る工夫を行い、日本社会・企業にとっての「監査の品質とは何か」と常に意識しながら、指導的機能を十分に発揮して監査を実施していきたいと考えております。

クライアントと向き合い、 監査の意義を発揮する監査法人へ。

代表パートナー / 公認会計士 田和 大人
Hirohito Tawa

昨今の監査業界では、上場企業の法定監査において大手監査法人から中堅中小監査法人への監査人交代が増加しており、IPOのための準金商法監査においても中堅中小法人の存在感が高まっています。また、大手監査法人における長時間労働の常態化や顧客に対する貢献を感じにくいチェックリスト方式の監査に嫌気した公認会計士が、より働きやすい環境や監査自体のやりがいを求めて中堅中小監査法人に移籍する流れも継続しています。

我々史彩監査法人は、これからの一層の成長を追い求める企業様に向き合い、経験豊富な公認会計士を中心とする適切な監査チームを組成し高品質な監査サービスを提供することを通じて、資本市場及び日本

経済に貢献して参ります。また、監査にやりがいを求める有意な人材に活躍の場を提供できる法人として、業界において存在感を発揮して参りたいと考えております。



Our Identity



IPO監査のプロフェッショナルへ

IPO監査を通じて指導的機能を発揮し、クライアントに信頼される会計士へ。
ひいては「ベンチャー企業の主治医」と呼ばれる存在を目指します。

早い成長

上場企業の主査へ最短で3年目にチャレンジ。
また、IPO監査へ若い年次から関与します。

史彩監査法人の特徴



史彩の由来とロゴについて

史彩という名前は「歴史」と「彩り」という2つの言葉からつけられています。ロゴは史彩らしいカラフルなデザインで、SHISAIを構成する「S、H、I、S、A、I」を組み込んでいる印象的なシンボルとなっており、新オフィスのエントランスにもデザインされています。

Growth &



Sustainability

働きやすい環境

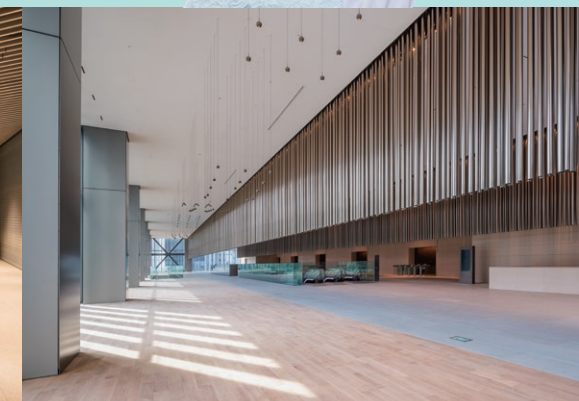
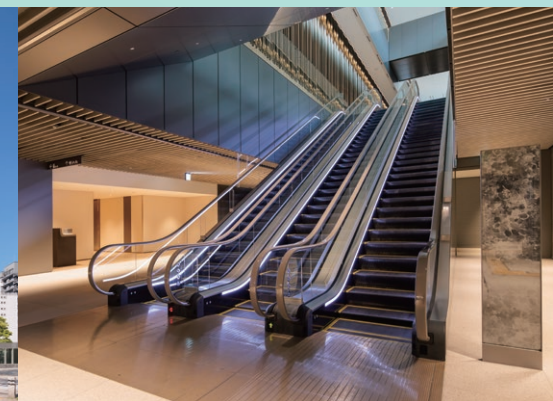
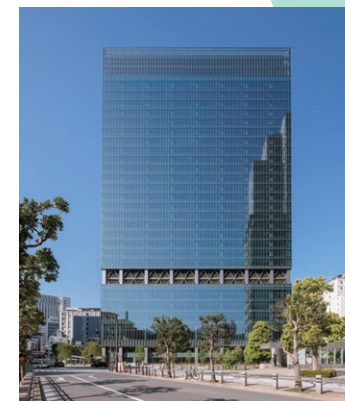
平均残業時間は13時間！退職金制度など福利厚生も充実。
WLBと法人内のコミュニケーションを大切にしています。

部活動もあります♪



2025年7月新オフィスへ移転

2025年7月より新オフィス『赤坂グリーンクロス』へ移転しました。
ハイグレードなビルで気持ちよく働こう！



利便性の高いロケーション

駅直結なので雨の日も濡れずに出社できます。ビルは新築なので、どこも綺麗で清潔感のあるオフィスです。

Why IPO?

IPO監査の魅力

社会的意義

IPOは企業の成長と日本経済全体において重要な役割を果たします。
社会的なインフラを担うIPO監査に携わることは会計士としてとても貴重な経験となります。

ベンチャー企業と向き合う

IPOに向けて様々な課題や悩みを抱えたクライアントに向き合い、
ワンチームでクライアントのIPOに伴走する業務です
そしてIPOの達成、喜びを共に分かち合うことができる、独特のやりがい、魅力があります。

IPO監査を通じた成長

IPO監査の現場では指導的機能を発揮する局面が多く、
加速的な成長、また幅広いキャリアの選択肢へとつながります。

クライアントのビジネスモデル

会計、監査実務のみならず幅広い知見を
習得することができます。また若い年次
から経営者ディスカッションに
チャレンジします！

史彩監査法人で
やりがいあふれる
IPO監査を通じて
強い会計士を目指そう！

IPO [IPOでの成長ステップ] Growth Path



Staff of SHISAI

スタッフ
高宮 祐太 Yuta Takamiya

スタッフ
南方 萌衣 Moe Minakata

マネージャー
金子 敬介 Keisuke Kaneko

シニアマネージャー
野呂 樹宏 Tatsuhiko Noro

パートナー
本橋 義郎 Yoshiro Motohashi

About IPO

IPO 監査とはなにか

スタッフの木村さんが先輩に聞いてみた!!



Q IPO監査の魅力について教えてください!

伊藤 | IPO監査には、監査の経験のない会社に対し、企業の会計処理や決算内容などが適切かどうかを判断する、いわゆる会計と監査の専門知識が必須です。加えて、多くのIPO準備企業は会計制度や内部統制で未整備な部分が多く、それらの整備に向けたコンサルティングに近い業務も行います。私はこれまで20社以上の株式上場に携わってきたなかで、IPO準備企業と一緒に数年かけて、「上場企業にふさわしい体制整備」をゼロベースから構築するこの支援に大きなやりがいを見出してきました。なかには上場後に日本を代表するような企業へ成長したケースもあり、そうした企業の「土台づくり」となるIPO監査に携われたことは、「会計士冥利に尽きる」と感じています。

本橋 | 私もかつて、大手監査法人においてIPO監査に携わり、IPOという目標に向かって、会社に近い立場で会社の成長に寄与することができる、その業務内容に大きな魅力とやりがいを感じてきました。しかし、昨今大手監査法人のなかではIPO監査へ関与できる機会が減少してしまっていることもあり、「IPO監査の醍醐味をいつまでも味わいたい」という想いから史彩監査法人に入所しました。現在、当法人には約60名の所員が在籍していますが、全員が私と同じくIPO監査への強い熱意を持っています。そうした私たちがIPO監査を行う際にこだわっていることがあります。それは、「人に向き合う監査」というものです。

本橋 | IPO監査は、医師の仕事に似ていると思っています。医師は患者を「診断」し、その結果に基づき「治療」を行います。まさにIPO監査も同じです。IPOに向けて悩みを抱える経営者や企業に対して、経営管理体制や各種内部管理体制、会計処理などにおいて課題がないか「診断」を行い、改善に向けた「治療」を提案していきます。

伊藤 | 実際の「財務諸表の監査」以前に行うこれらの監査は、厳しいIPO審査を乗り越えるための基盤づくりの監査といえ、この善し悪しがIPOの成功を左右するといっても過言ではありません。ときには課題を掘り起こし、「病巣」をしっかりと除去する改善プランを立てなければならないこともあります。だからこそ、このIPO監査に必要なことは、「人と向き合うこと」だと思っています。経営者や経理担当者はもちろん、ときには人事、営業、製造、開発担当者などからも話を聞き、この企業の問題点は洗い出せたか、その原因はどこにあるかなどを見抜く必要があるからです。改善に向けた助言の際も、改善提案の書類とともにしっかり面と向かって説明し、進ちょく状況まで確認していくことが、その企業にとって改善効果の着実な定着につながると考えています。

PROFILE

Partner

パートナー
本橋 義郎 Yoshio Motoshi

様々な業種の上場企業、また30社以上のIPO監査業務に関与。その他、決算体制構築やJSOX導入などIPO関連の支援業務等に従事。



PROFILE

Managing Partner

代表パートナー
伊藤 肇 Hajime Ito

幅広い業種の上場企業の監査に従事する傍ら、ベンチャー企業のIPO監査を担当する。その他にもM&Aの財務デューデリジェンスやIFRS、J-SOX等に関する財務アドバイザーにも従事。

PROFILE

Staff

スタッフ
木村 有志 Naoyuki Kimura

2023年公認会計士論文式試験合格。IPO監査に興味を持ち、史彩監査法人へ入所。



史彩監査法人
スタッフ代表

Q 監査法人というと「数字に向き合う」というイメージが強そう。実際はどうでしょう?

伊藤 | もちろん数字は大事ですが、それだけを見ていては、「通り一遍」の監査しかできなくなります。わかりやすくたとえると、「赤字企業に投資する」という経営判断に対しては、会計上の数字だけを見ると、減損リスクなどネガティブな要素が多くあり、監査のうえでも否定的な見解を伝えざるを得ません。一方で私たちの場合は、その経営判断にいたった経緯や投資事業にかけける経営者の考え、事業における企業の成長戦略への寄与度合いなどもしっかりと把握するため、たとえ会計上の数字はネガティブなケースでも、事業の成長の観点から監査上の見解を伝えられるのです。いわば、私たちもその企業の「事業リスク」に向き合っているのです。それくらい「企業に寄り添う」意識を持つ私たちだからこそ、IPOへ挑戦し続ける企業の監査を担えるのだと自負しています。

Q これからIPO監査にチャレンジする公認会計士のみなさんへメッセージを!

伊藤 | そもそも当法人は、「IPO監査難民問題」を解決すべく、2017年に設立しました。その経緯からもわかる通り、IPOへ向かって突き進むベンチャー企業をサポートすることが私たちの使命です。IPOまでの困難な道のりでも、前向きな姿勢で粘り強く、新たな挑戦も続ける「ベンチャー精神」を持つ監査法人として、「主治医」のようにIPO準備企業に寄り添い、しっかりサポートしてまいります。

本橋 | 史彩監査法人はIPO監査に非常に力を入れています。これは、監査を通じて次世代の企業の成長に伴走し、将来的に日本経済の発展につながる、社会的意義の高い業務であると考えているためです。そして何より、クライアントのIPOを支え、クライアントと喜びを分かち合うことができる、大きなやりがいと魅力あふれる、そんな仕事と一緒に取り組んでみませんか?

Message

未来の仲間へメッセージ



スタッフ

渋谷 聖葉 *Seiha Shibuya*

挑戦の中に 学びと成長の実感がある

入所の決め手と現在の業務内容

IPO監査業務を早くから経験でき、かつ多様な業種の上場企業の監査業務にも携われることが入所の決め手となりました。また、「監査は面白い」という代表社員の熱意も後押しとなりました。入所してからは上場企業監査、IPO監査のどちらにも携わり、入所3年目から上場企業の主査を担当しています。IPO監査については、チームメンバーとして関与していますが「IPO準備のはじめからジョインして上場まで見届ける」という目標を達成するために、研修を受講したり、ショートレビューに参加したりして、業務の幅を広げている最中です。

将来どんな会計士になりたいか

将来はスタートアップ企業の成長を、会計の知識や監査の面から支援することのできる会計士になりたいと考えています。企業や業界のことを深く理解し、信頼される会計士であることが企業の成長や、効果的かつ効率的な監査の実現に不可欠であると思います。経済の変化に合わせて会計、監査における状況も変化していきますが、その変化にも対応できるよう会計士としての揺るがない土台作りに研鑽を積んでいきます。弊法人が、いま私に挑戦できる環境を与えてくれているように、私も後輩の背中を押していけるような存在になりたいです。



スタッフ

高宮 祐太 *Yuta Takamiya*

人との近さが 成長のチャンスにつながる

自分自身に合った法人を見つける

私は法人選びの際に、雰囲気と規模感を重視していました。新卒として入所して監査業務を行うにあたって、質問や相談などがしやすく自分の成長につながる環境で働きたいと考えていました。史彩の説明会に参加した際に感じた事務所全体の距離感の近さや仲の良さなどを見て、その雰囲気と規模感が自分に合っていると感じ、史彩への入所を決めました。また、比較的若くして試験に合格できたので、よりチャレンジできる環境に身を置くことで周りとは異なる経験を積みめれば考えたのも史彩を決めた理由の一つです。

史彩ならではの「距離」の近さ

史彩に入所して感じるのは、人と人との距離が近いということです。それは、職員同士の関係だけでなくクライアントとの関係にも当てはまっています。職員同士の距離感という意味では、中小監査法人の特徴である事務所全体の距離感の近さを日々感じていて、入所前のイメージ通りの環境で仕事ができています。また、クライアントとの関係では、往査で会社の経理の方やCFOと直接お話しする機会も多く、会社の直面している問題や会計上の論点を理解した上で監査を行うことができています。このような機会は、自分の成長につながっていると感じています。



休日は趣味ではじめたフルートの練習をしています。初心者なので基礎練習を中心に、たまに好きな曲を練習するのが楽しいです。



往査の時はチームメンバーと一緒に食事をします。美味しいご飯を食べて気持ちをリフレッシュしています。

ONE DAY 業務1日のスケジュール

9:30	始業 ~ クライアント先へ訪問
10:00	経理部から提出された資料の確認、作業内容の確認
12:00	往査先の近くにてチームでランチ
13:00	経理部への質問
15:00	チーム内でのミーティング
16:30	進捗の整理
17:30	終業
After	定時後、友人と飲みに行ったり映画を見たりします。



後輩が質問や相談しやすい環境づくりを心がけています。ランチに行ったり、雑談の時間を設け、気軽に話せる関係性を築くようにしています。



同期飲みは頻繁に開催されます(笑)。仕事からプライベートまで何でも話します!入所されたらぜひ一緒に飲みに行きましょう。

ONE DAY 業務1日のスケジュール

9:30	始業 ~ 1日の作業内容をチームメンバーと確認、メール対応
10:00	会社からの資料の確認
11:45	事務所近くでチームランチ
12:30	事務所に戻ってのコーヒータイム。久しぶりに会ったスタッフと談笑
12:45	午後の作業開始。午後の会社MTGに備えて準備
14:00	会社とのMTG
15:00	議事録を作成して、チームに共有
17:30	進捗報告 ~ 終業
After	定時後、同期と飲み会

Training

教育・研修制度

挑戦を応援する組織風土と成長を支える育成制度があります。

史彩監査法人の IPO クライアント比率が全体の 2/3 を占めるため、チャレンジ機会が多いのが特徴です。なにより、私たちの行動指針の 1 つに『ミスを恐れず挑戦する人を応援します』という言葉があります。何ごととも思い切ってチャレンジすることが成長への第一歩になると考えています。



「監査を超えた価値」を提供するための研修制度があります。

私たち史彩監査法人では、成長と専門性の向上を重視し、幅広い研修プログラムを提供しています。新人研修から高度な専門知識を習得する研修まで、常に最新の知識と技術を身につけることで、クライアントに最高のサービスを提供するための基盤を築いています。

1 年目 上場企業の監査をメインに担当	採用人数の適正化 ☐ 各監査チームに新人は1名。 ☐ 先輩スタッフ、ベテラン会計士から手厚いOJTを受けられる体制を重視しています。	研 修 ☐ 月次の定例研修 ☐ 階層別研修（新人研修、IC研修含む） ☐ IPO研修など	勉強会 ☐ 外部専門家との提携勉強会 ☐ IFRS勉強会 ☐ 史彩塾など ※代表社員による
-------------------------------	---	---	--

Event & Welfare

スタッフイベントや福利厚生

史彩監査法人は仕事だけではなく、スタッフの交流、福利厚生やプライベートの充実も大切にしています。ランチや懇親会の補助金や、各種イベントを催すなど、スタッフ同士の関わりをサポートすることにより、結果として各スタッフの業務やプライベートのクオリティ向上に繋がると考えています。



ランチ補助 / 懇親会補助	部 活 動 ゲーム / 将棋 / 日本酒 / マラソン カラオケ / ゴルフ部 など拡大中	退職金制度 [公認会計士企業年金基金]	BBQ大会 / Xmasパーティ
----------------------	--	-------------------------------	-------------------------

SHISAI in Numbers

数字で見る史彩監査法人

上場企業
インチャージまでの
最短期間

3年

直近1年間の
月平均残業時間

13時間

クライアント数

42社
[うち、上場14社]

IPO監査の
クライアント比率

2/3

売上高成長率
[過去5年平均]

52%

Industries We Serve

史彩が支える業界のジャンル

最先端のビジネスモデルに対する監査を通じて、企業の成長と信頼性を支えるプロフェッショナルとして活躍できます。

IT

新電力

教育

AI

ブライダル

Saas

SaAS

ヘルスケア

バイオ

コンサル

外食

アグリテック